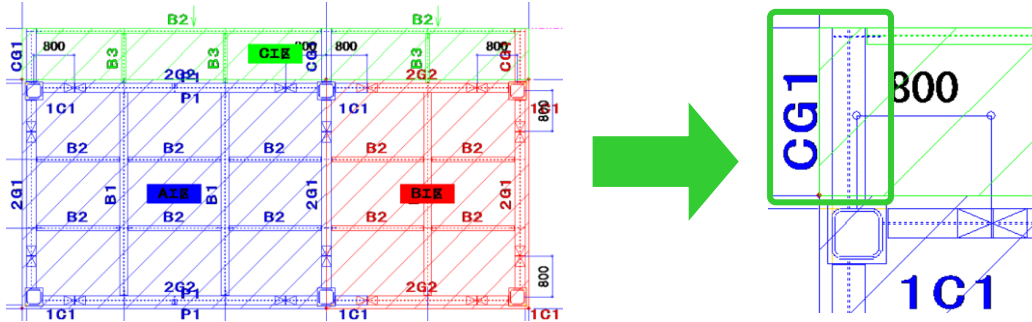


個別に工区を設定したい！

個別指定を使用すると個別に工区設定が可能です。

【工区】 - 【入力】 で工区を設定した場合、範囲選択時に範囲内に含まれた製品が一括で工区設定されます。

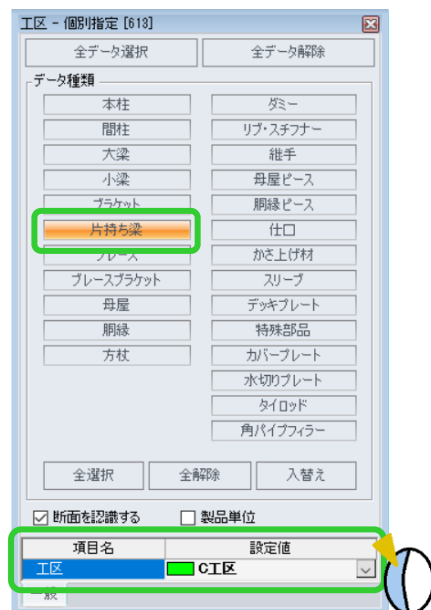
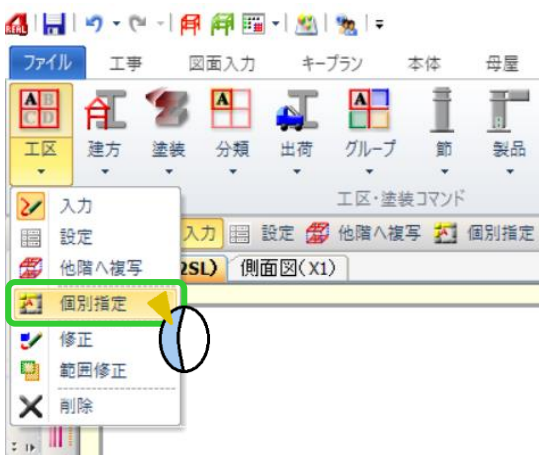
例) 柱が A 工区の場合、C 工区の範囲にあって柱に溶接する片持ち梁は A 工区に含まれます



範囲選択ではなく個別に工区を設定したい場合や、製品の一部を【入力】で設定された工区とは別の工区に設定したい場合は、【個別指定】で個別に工区を設定します。

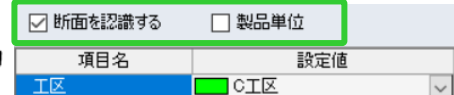
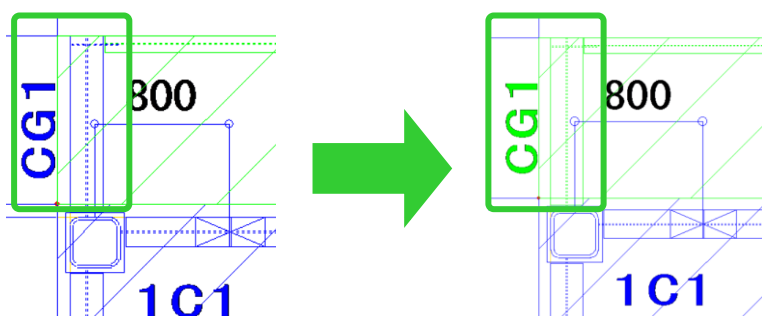
【工区】 - 【個別指定】をクリックし、入力シートで設定したい工区を選択します。

【データ種類】で選択している鋼材や部品のみ配置画面上で選択できるため、配置画面上で選択し辛い場合は、選択したい鋼材・部品のみ【データ種類】で選択してください。



配置画面上で個別に工区設定したい鋼材をクリックし、四隅の☑ をクリックして設定します。

例) 片持ち梁 CG1 をクリックした場合、片持ち梁 CG1 が A 工区から C 工区に変更されます。



- 断面を認識する
☑ を入れると、鋼材の断面も選択できます。
- 製品単位
☑ を入れると、製品単位で選択します。
今回のように鋼材や部品単位で選択したい場合は☑ をはずしてください。